



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩浅 壽二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 瀬古 宜範

TEL 06-6466-6661

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	34,084	△1.5	973	△20.0	735	△14.3	417	92.4
23年3月期第2四半期	34,592	2.1	1,216	—	858	—	217	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 85百万円 (803.5%) 23年3月期第2四半期 9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.81	—
23年3月期第2四半期	1.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	67,545	17,098	22.4
23年3月期	70,092	18,828	21.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,141百万円 23年3月期 15,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,000	0.2	2,300	△23.9	1,500	△30.4	700	△31.0	4.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	148,553,393 株	23年3月期	148,553,393 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	62,814 株	23年3月期	61,781 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	148,490,579 株	23年3月期2Q	148,491,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州経済の先行き不安や東日本大震災の影響が企業収益、個人消費等に依然として色濃く残ってはおりますが、サプライチェーンの立て直しや企業の生産活動の正常化に伴い、徐々に回復傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは安定的収益を上げる体質を目指し、国内塗料事業の高付加価値化、海外塗料事業の積極拡大等を柱とした施策に積極的に取り組んでまいりました。塗料需要が低迷するなか、販売量は前年並みを確保しましたものの、原材料価格の高騰によるコスト増加を経費削減で十分吸収しきれず、利益面では厳しい結果となりました。ただし、四半期純利益に関しましては、前年計上しました保有株式評価損がなかったこともあり、増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、340億8千4百万円（前年同四半期比 1.5%減）、利益面につきましては、営業利益は9億7千3百万円（同 2億4千3百万円減）、経常利益は7億3千5百万円（同 1億2千2百万円減）、四半期純利益は4億1千7百万円（同 2億円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内塗料事業〕

一般塗料は、民間の震災復興需要や節電対応の遮熱塗料が増加する一方、公共工事の先延ばしや受注競争の激化により、販売量は伸び悩みました。利益面でも原材料価格の高騰により、利益水準は低調に推移いたしました。

工業塗料は、建材塗料分野で震災復興需要があり持ち直しの傾向が見られますが、原材料価格の高騰によるコスト増を吸収しきれず、利益面では極めて厳しい状況にあります。

この結果、国内塗料事業全体の売上高は260億2百万円（前年同四半期比 0.7%増）、セグメント利益は5億5千3百万円（同 1億2千5百万円減）となりました。

〔海外塗料事業〕

海外塗料事業は、東南アジア地域及び中国における原材料価格の高騰に加え、東日本大震災の影響で日系自動車産業において一時的に操業度が低下したことによる需要の停滞及び円高などにより業績は下振れいたしました。

この結果、海外塗料事業全体の売上高は25億8千4百万円（前年同四半期比 4.7%減）、セグメント利益は1億4千7百万円（同 8千5百万円減）となりました。

〔照明機器事業〕

照明機器事業は、全国的な節電志向を受けての省エネ対策としてLED設備向け需要が伸長しましたものの、主力の蛍光灯のメンテナンス需要の低迷や商業施設改装計画の先延ばしが目立ち、売上、利益ともに低調に推移いたしました。

この結果、照明機器事業全体の売上高は39億3千3百万円（前年同四半期比 12.2%減）、セグメント利益は9千4百万円（同 1億6千8百万円減）となりました。

〔蛍光色材事業〕

蛍光色材事業は、海外市場での堅調な需要を背景に輸出が好調を維持しておりますが、円高の影響を受け、利益水準はやや低調に推移いたしました。

この結果、蛍光色材事業全体の売上高は6億3千5百万円（前年同四半期比 2.3%減）、セグメント利益は4千7百万円（同 1千9百万円減）となりました。

〔その他事業〕

その他事業全体の売上高は9億2千9百万円（前年同四半期比 0.8%増）、セグメント利益は7千6百万円（前年同四半期はセグメント損失6千9百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は675億4千5百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億4千7百万円の減少となりました。流動資産は325億4千2百万円で前連結会計年度末と比較して13億9千6百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の減少10億9千4百万円、受取手形及び売掛金の減少3億6千7百

万円、棚卸資産の増加2億1千4百万円が主因であります。固定資産は350億2百万円で前連結会計年度末と比較して11億5千万円の減少となりましたが、これは有形固定資産の減少4億3千4百万円、無形固定資産の減少2億4千9百万円、投資その他の資産の減少4億6千6百万円が主因であります。

負債は504億4千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億1千6百万円の減少となりました。これは支払手形及び買掛金の減少3億4千8百万円、短期借入金の減少6億4千2百万円、未払法人税等の減少2億2千2百万円、長期借入金の増加9億6千3百万円、リース債務の減少3億1千5百万円、退職給付引当金の減少8千9百万円が主因であります。純資産は170億9千8百万円で前連結会計年度末と比較して17億3千万円減少しました。これは利益剰余金の増加2億6千9百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億7千4百万円、少数株主持分の減少16億2千8百万円が主因であります。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローにつきましては、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は23億1千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億9千6百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、11億7千万円（前年同四半期は14億1千4百万円）となりました。これは税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少等の増加要因と、たな卸資産の増加、仕入債務の減少等の減少要因を主因とするものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、18億3千4百万円（前年同四半期は4億5百万円の収入）となりました。これは定期預金の払戻と預入に伴う収支の減少等と、子会社株式の取得による支出等を主因とするものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は、2億3千8百万円（前年同四半期は9億3千6百万円）となりました。これは借入金の増加等と、リース債務や配当金の支払い等を主因とするものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成23年5月12日に公表いたしました通期連結業績予想につき、現時点では業績予想の変更は行っておりません。

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績予想を一部修正いたしましたものの、震災復興需要の顕在化の遅れや原材料価格の高騰による利幅の圧縮、円高や金融市場の混乱による日本経済の不安定化に鑑み、現時点では期初の予想水準並みと考えております。

これからの情勢により、通期業績見込みについて見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,590	2,495
受取手形及び売掛金	16,599	16,232
商品及び製品	7,575	7,422
仕掛品	1,111	1,153
原材料及び貯蔵品	2,871	3,196
繰延税金資産	597	607
その他	1,744	1,557
貸倒引当金	△149	△122
流動資産合計	33,939	32,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,899	18,933
減価償却累計額	△12,014	△12,217
建物及び構築物（純額）	6,884	6,715
機械装置及び運搬具	23,697	23,863
減価償却累計額	△19,449	△19,781
機械装置及び運搬具（純額）	4,247	4,082
土地	11,947	11,944
リース資産	760	763
減価償却累計額	△218	△273
リース資産（純額）	542	489
建設仮勘定	15	9
その他	6,096	6,140
減価償却累計額	△5,355	△5,437
その他（純額）	741	703
有形固定資産合計	24,379	23,945
無形固定資産		
のれん	169	199
リース資産	1,344	1,073
その他	388	379
無形固定資産合計	1,901	1,651
投資その他の資産		
投資有価証券	4,285	3,680
繰延税金資産	3,667	3,866
その他	2,182	2,112
貸倒引当金	△262	△253
投資その他の資産合計	9,872	9,405
固定資産合計	36,153	35,002
資産合計	70,092	67,545

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,415	17,066
短期借入金	12,466	11,824
未払法人税等	515	293
製品補償引当金	82	72
災害損失引当金	61	18
その他	5,132	5,166
流動負債合計	35,673	34,442
固定負債		
長期借入金	8,330	9,293
リース債務	1,785	1,458
繰延税金負債	156	147
再評価に係る繰延税金負債	1,731	1,731
退職給付引当金	3,072	2,983
役員退職慰労引当金	135	138
環境対策引当金	44	35
その他	334	217
固定負債合計	15,590	16,005
負債合計	51,264	50,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,443	2,443
利益剰余金	2,533	2,803
自己株式	△9	△10
株主資本合計	13,794	14,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	80
土地再評価差額金	1,454	1,454
為替換算調整勘定	△461	△457
その他の包括利益累計額合計	1,448	1,077
少数株主持分	3,585	1,956
純資産合計	18,828	17,098
負債純資産合計	70,092	67,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	34,592	34,084
売上原価	24,373	24,517
売上総利益	10,218	9,567
販売費及び一般管理費	9,002	8,594
営業利益	1,216	973
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	40	56
その他	166	142
営業外収益合計	209	200
営業外費用		
支払利息	291	256
その他	276	182
営業外費用合計	568	438
経常利益	858	735
特別利益		
受取保険金	—	69
固定資産売却益	3	3
環境対策引当金戻入益	1	—
その他	—	0
特別利益合計	4	73
特別損失		
固定資産処分損	7	24
投資有価証券評価損	162	0
災害による損失	—	9
その他	32	6
特別損失合計	202	40
税金等調整前四半期純利益	660	768
法人税、住民税及び事業税	359	262
法人税等調整額	△15	32
法人税等合計	344	295
少数株主損益調整前四半期純利益	316	472
少数株主利益	99	54
四半期純利益	217	417

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	316	472
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△263	△378
為替換算調整勘定	△42	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	△307	△387
四半期包括利益	9	85
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76	46
少数株主に係る四半期包括利益	85	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	660	768
減価償却費	1,194	1,172
のれん償却額	34	38
受取保険金	—	△69
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△44	△89
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△268	2
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	13	△10
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△42
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△37
受取利息及び受取配当金	△43	△57
支払利息	291	256
持分法による投資損益 (△は益)	19	△10
固定資産処分損益 (△は益)	7	24
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	162	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△358	312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35	△233
仕入債務の増減額 (△は減少)	305	△333
その他	42	△22
小計	1,964	1,656
利息及び配当金の受取額	44	58
利息の支払額	△285	△248
保険金の受取額	—	69
法人税等の還付額	200	128
法人税等の支払額	△508	△493
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,414	1,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△722	△219
定期預金の払戻による収入	1,462	417
有形固定資産の取得による支出	△314	△400
有形固定資産の売却による収入	4	3
有形固定資産の除却による支出	—	△20
投資有価証券の取得による支出	△38	△13
投資有価証券の売却による収入	14	0
子会社株式の取得による支出	—	△1,650
その他	△0	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	405	△1,834

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,795	△562
長期借入れによる収入	3,010	3,050
長期借入金の返済による支出	△1,803	△2,158
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△308	△333
配当金の支払額	—	△148
少数株主への配当金の支払額	△39	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	876	△896
現金及び現金同等物の期首残高	2,710	3,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,587	2,314

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計			
売上高								
外部顧客への売上高	25,826	2,711	4,482	650	33,670	921	—	34,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	586	6	—	103	696	1,454	△2,151	—
計	26,413	2,717	4,482	754	34,367	2,376	△2,151	34,592
セグメント利益又は 損失(△)	679	232	262	66	1,240	△69	45	1,216

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,240
「その他」の区分の利益	△69
セグメント間取引消去	79
のれんの償却額	△34
四半期連結損益計算書の営業利益	1,216

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への売上高	26,002	2,584	3,933	635	33,155	929	34,084	—	34,084
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	479	18	—	78	577	1,536	2,113	△2,113	—
計	26,482	2,603	3,933	714	33,733	2,465	36,198	△2,113	34,084
セグメント利益	553	147	94	47	842	76	918	54	973

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業、不動産管理事業、経理業務サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額54百万円には、セグメント間取引消去92百万円、のれんの償却額△38百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。